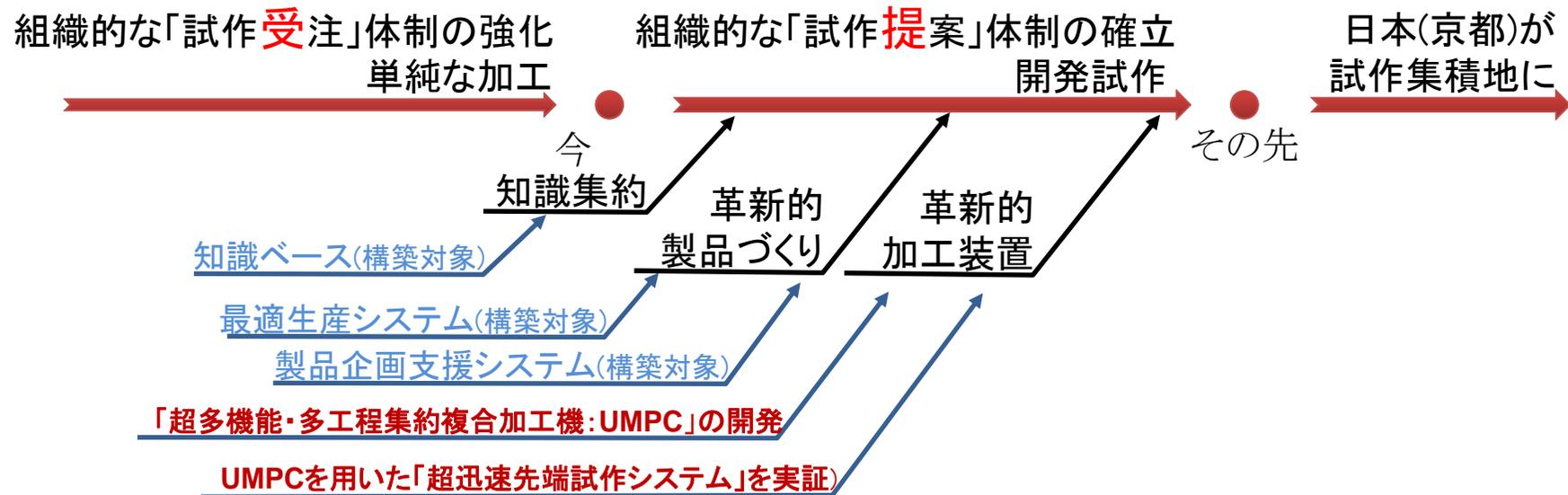


＜研究実施者＞ 太田 稔教授 佐藤 芳子

## ●研究背景

京都ものづくり系中小企業による試作事業



意義: 京都ものづくり系中小企業試作事業が発展(受注体制から提案体制)し、試作集積地になるための  
情報活用力強化を図る

問題点: 企業間での共同試作提案が体制的に困難  
知識 = 膨大な情報の活用が不可

← 情報活用力強化で克服

ベンチマーク: 比較対象となるシステムがないため、指標として知識情報量を使用する。  
京都試作ネットの 知識情報蓄積量 現在: 無し

● **目標** 京都試作ネット内企業の技術情報等を体系化し、知識探索を行うことによる

**試作の効率化(知識集約)と活性化(革新的製品づくり)**

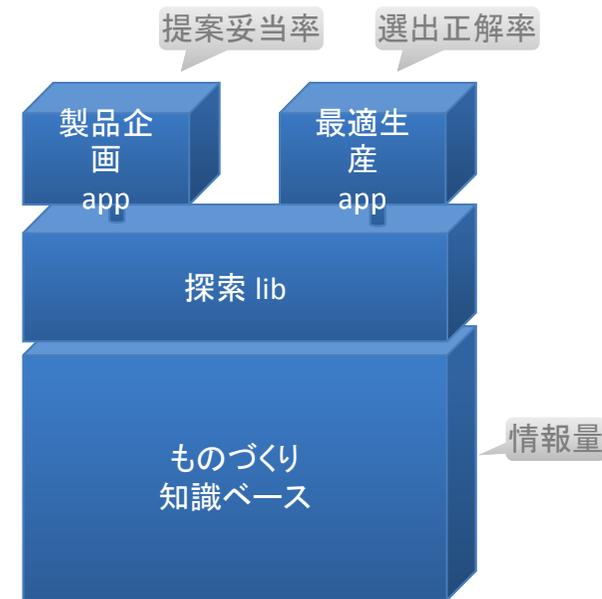
- ・ 知識情報の体系化と**情報量**増大
- ・ 提案試作の提案数と**妥当率**アップ
- ・ 共同企業の選出効率と**正解率**アップ

波及効果

- ・ 京都**試作集積地**化の加速
- ・ **グローバル試作**ネットワークの成長

● **実施内容** 次のものを構築する

- ・ ものづくりに特化した **知識ベース**
- ・ 京都試作ネットのための  
**製品企画、最適生産システム**



構築システムの構成イメージ

● **実用化・事業化に向けた戦略、推進体制**

戦 略

- ・ 可能な限りの情報公開で**異なる見地**の取り込みへの努力
- ・ **日本(世界)標準コード体系**を取り入れてのシステム開発

体 制

- ・ ハード(工繊大)・ソフト(ファーマ/京大)・企業(京都試作ネット/センタ)の**三つ巴チーム体制**
- ・ 京都府・市の強力な**地域バックアップ**

## 実施内容

主要課題		実施内容
UMPC の開発	ベースマ シン	ベースマシン及び加工機能ユニットの <b>コンセプト</b> 設計
		<b>コンタクトフリー</b> 高剛性・高精度ベースマシンの開発
	加工機能 ユニット	個別 <b>加工機能ユニット9種</b> の設計・製作・性能実験
		ベースマシンへの搭載とUMPC用 <b>制御システム</b> の開発
UMPCの多機能性・工程集約性の <b>性能評価</b>		
UMPCの開発		モデル部品による試作で <b>超迅速試作の実証</b>

